

のぼり(幟)

のぼり旗、陣旗、桃太郎旗、その他色々な呼び方があります。

店頭で風にたなびいて、活気をあたえているのが「のぼり(幟)」です。
いまや「のぼりがあれば商売が出来る」といっても過言ではありません。

戻り止め

「ちぎれ」をはさんで戻りを防ぎ形状を保ちます。

カンザシ

のぼりの上部を保持します。FRP製が多用されています。

ち(ちぎれ)

ポールと連結する布です。一般的には白のテープですが色を付けたものもあります。本体と同じ生地を使うと共ちぎれと言います。

伸縮ポール 3m/4m/他

スティールパイプにABS樹脂を被覆したものが一般的ですが、ステンレスとか、和風のものもあります。被服部に印刷も可能です。通常2本伸縮ですが、長いものでは3本繋ぎにします。

ヒートカット

化学繊維の場合は熱で溶かして断裁仕上げをします

OPTION

まくれ上がり止め

風による「まくれ」を防ぎ形状を保ちます

OPTION

三ツ巻

切り端を縫製して風によるほつれを防ぎます
綿素材の場合は熱で溶けませんから全ての切り端を縫製します



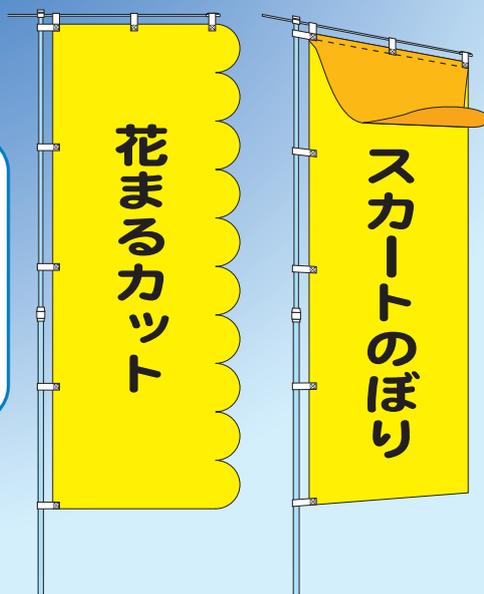
—サイズの設定—

- 生地巾を生かした一般的な巾 600巾、720巾、920巾の他に半裁して360巾、460巾の活用もできます。
※生地巾を600mmにした場合長さは1.800mm程度のバランスが良いようです。

—印刷方法—

- シルク印刷
色ごとに型を作り印刷を重ねてゆきます。
(退色性に強く量産向き)
- 転写
紙に印刷し、それを布に転写する方法。
- インクジェット
大型のプリンタで直接布に印刷します。

特殊な形状もご提案できます



二重にしてみました!

—素材—

- ポンジ(ポリエステル)
- 紗(ポリエステル)
- トロピカル(ポリエステル)
- 天竺(綿)
- 金巾(綿)